

2020年10月号
山形県最上総合支庁



もがみの花で皆を元気に！

9月5日・6日に、最上地域の花の魅力を広く消費者に知ってもらうことを目的とした「新庄・もがみフラワーフェスティバル2020」が最上広域交流センター“ゆめりあ”にて開催されました。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、マスク着用・検温・消毒の徹底など、例年と異なる形での開催となりましたが、2日間合わせて約600名の方に御来場いただきました。品評会では、最上地域で生産された花き106点の出品があり、その中から25点が入賞。最優秀賞の県知事賞には野尻直光さん（鮭川村）のりんどう（しなの3号）が選ばれました。

また、「癒し」をテーマとした飾花オブジェの展示では、来場者はたくさんの美しい花々に囲まれ、思い思いに写真撮影を行い、癒しの時間を過ごしていました。会場では、最上地域の花き生産を牽引してきたレジェンド生産者やそのバトンを受け継ぐ若手生産者の花に対する想いや圃場の様子、作業風景などのPR動画が上映され、来場者からは「生産者の熱い想いが伝わってきた」「農業っていいなと思える映像だった」など絶賛の声が聞かれました。そのほかにも、品評会に出品された花きや農林大学の学生による花の寄せ植えの販売、花関連活動団体による生け花やボタニカルアートの展示など、来場者は花の美しさに魅了されている様子でした。

コロナ禍の中でのフラワーフェスティバル開催でしたが、人を笑顔にする花の力で皆さんの心を癒すことができましたと感じています！
[農業振興課 29-1317]



県知事賞



飾花オブジェ②



花き生産PR動画より抜粋



飾花オブジェ①

「白寿」賀詞の贈呈 ～これからお元気で～

県では、高齢者に敬意を表するとともに健康長寿をお祝いするため、数え年で99歳の「白寿」を迎えられた方に、賀詞を贈呈しております。9月15日、県内の対象者886名（9月1日現在）の代表として、真室川町の佐藤繁治さんに、橋本最上総合支庁長と新田真室川町長が自宅を訪問し直接賀詞を贈呈しました。

繁治さんは日記をつけることが日課となっており、読書や書道も好きとのことでした。また、繁治さんはお話し上手で、橋本支庁長との懇談は、近衛師団に属し皇居を護衛した経験や、銃剣道で青少年選手の育成・指導にあたり国体三連覇を成し遂げたことなど話題が尽きず、終始穏やかな雰囲気での贈呈となりました。

[保健企画課 29-1273]



佐藤繁治さんと橋本支庁長



佐藤繁治さんとご家族、橋本支庁長、新田真室川町長

大雨災害からの早期復旧と今後の災害時の対策について

一般県道片倉塩線

7月27日から大雨から約2か月が経過しました。
9月2日時点で、県全体の被害額約356億円を確認、当初予算に8月及び9月の補正を合わせて、約292億円の災害対応予算を計上しています。

最上地域では、仮設工事等の対応により、道路の通行止め規制を解除した箇所もあります。さらに現在は、本復旧に向けての調査等が各被災箇所で行われています。

また、台風は7月から10月にかけて、最も多く発生します。

災害はいつ起こるかわかりません。「**自らの命は自らが守る**」意識を忘れずに、改めて自宅の**非常用の持ち出し袋の確認**や、**自宅の災害リスクと自分のとるべき行動**を事前に確認しておきましょう。

さらに、新型コロナウイルス感染症が収束していない中、災害時における感染症対策のため、**非常用持ち出し袋には「マスク」「手指衛生用製品」「体温計」「タオル」「防寒着(換気対策による寒さのため)」を追加しよう。**



道路欠損 (被災時の状況)



仮復旧の状況

[参考(県HP) https://www.pref.yamagata.jp/ou/bosai/020072/kochibou/wat_you_can_do.html]



[防災安全室 29-1209]

◆今後も早期復旧に向けご理解とご協力よろしくお祈りします。◆

稲の適期刈取りと農作業事故防止に向けて



稲刈りシーズンを前にした9月4日、最上総合支庁舎前で「山形おいしさ際立つ!米づくりプロジェクト」の適期刈取り・農作業事故防止キャラバン出発式を行いました。

農業技術普及課長のあいさつに続き、最上地区農業機械士会の沓澤衛会長が「適期刈取りを徹底するとともに、安全を最優先して収穫作業を行う」と宣誓しました。

続いて、適期刈取りを推進し、高品質・良食味米生産につながるため「適期刈取りのぼり旗」並びに秋の農繁期の農作業安全を推進するため「農作業安全のぼり旗」を、稲作農業者の代表に伝達しました。

県では10月31日までを秋季農作業事故防止運動強化期間とし、啓発活動を進めてまいります。

農家の皆さん、収穫は適期に、作業は安全第一で今年も美味しいお米を届けましょう!



[農業技術普及課 29-1331]

着実な森林整備の前進に向けて

最上総合支庁では、管内市町村の森林経営管理制度^{*}の取組みを支援していくために、山形県森林管理推進協議会最上地域協議会を年2回開催し、情報共有・意見交換の場を提供しています。今年度は9月17日に最上総合支庁講堂において令和2年度第1回の協議会を開催しました。

※森林経営管理制度:環境保全の観点から緊急に整備が必要な森林のうち、森林所有者が自ら管理できない森林に対し、市町村が所有者に代わって整備をしていく制度

今回は、県で市町村を対象に実施した「森林経営管理制度に関するアンケート調査」の集計結果を県農林水産部森林ノミクス推進課の担当職員から説明し、その後の意見交換では、出席している委員から活発に意見や質問がありました。

今年度は制度開始から2年目となり、管内の市町村では、体制づくり、森林情報の収集、森林整備などに取り組み、着実に制度を推進しています。

県では、これからも市町村と一緒に、課題の解決やその取組みを支援してまいります。



[森林整備課 29-1347]

モチベーションを保ちながら活躍するために

9月13日、最上広域交流センター“ゆめりあ”を会場として、女性のためのモチベーションアップ講座「夫のやる気を引き出す魔法の言葉」を開催しました。講師に塩野貴美氏をお招きし、社会参画に向けて一歩踏み出した女性が仕事や地域活動などの家庭外での活動において今後もモチベーションを保ちながら継続的に活躍していくために、家族や職場の方々との関係づくりや理解と協力を得るための手法について学びました。定員を超えるたくさんの申し込みをいただき、急遽増席しての開催となり、大盛況のうちに終了しました。

参加された方々からは、「今日から実践できることがたくさんありました。家に帰ったら是非やってみたいです」「夫に限らず周りの方々に本講座を活かして接したいと思います」などの感想をいただきました。

県では、男女が地域や家庭などあらゆる場面でお互いを尊重し協力しあえる社会の実現に向け、今後も取り組んでまいります。



[子ども家庭支援課 29-1221]

令和元年度優良工事等を表彰

建設技術協会最上支部では、最上地域の建設技術の向上を目的に優良工事等とその担当者及び市町村の建設事業に顕著な功績があった方を表彰しています。9月2日、最上総合支庁講堂にて、功績のあった担当者8名を表彰いたしました。

◎ 表彰された皆さん（敬称略）◎

- ・阿部 明人（㈱新庄・鈴木・柴田組）
- ・早坂 佳代子（沼田建設㈱）
- ・菅 勝美（㈱結城測量設計コンサルタント）
- ・丹 幸一（㈱双葉建設コンサルタント）
- ・中嶋 寿幸（前最上町建設課長）
- ・伊藤 武美（前舟形町地域整備課長）
- ・土田 武志（道路計画課）
- ・石川 楓（道路計画課）



[建設総務課 29-1391]

大蔵村「湯治場ラジオ」に出演！

9月24日、大蔵村の肘折センターにおいて、新庄・最上ジモト大学の大蔵村プログラム「湯治場ラジオに出演！」が開催されました。

令和2年4月に開局したポッドキャスト「湯治場ラジオ」の収録に臨んだ高校生3名は、湯治場ラジオのメンバー（旅館、商店、飲食店の若旦那）たちと、肘折温泉で暮らすことの話などで盛り上がりました。



収録したラジオは
↓から聞けます！

<https://anchor.fm/toujibaradio/episodes/101--1-ek3cg8>



[連携支援室 29-1236]

国勢調査への回答はお済みですか

～回答期限は10月7日（水）です～

5年に1度の日本で最も重要な統計調査「国勢調査」が実施されています。日本に住む全ての人と世帯が対象で、調査結果は幅広い分野で活用され私たちの暮らしに役立てられます。

質問は全16問、回答時間の目安は10分程度です（ひとり暮らしの方の場合）。24時間いつでも回答でき、かんたん便利なインターネット回答にご協力をお願いいたします。

■総務省 HP

<https://www.kokusei2020.go.jp/index.html>



[総務課 29-1205]

最優秀賞受賞！

～東北地方整備局管内 業務発表会～

9月7日・8日に東北地方整備局職員、自治体職員、民間企業78名による業務発表会がWEB形式にて開催されました。山形県代表として最上総合支庁道路計画課の高橋善則さんが発表し、最優秀賞を受賞しました。

発表題目「除雪機械格納庫の有効利用に関する社会実験について」



[建設総務課 29-1391]



Information

■東北のへそ名物発見スタンプラリー実施中！

山形県最上地域、秋田県雄勝地域、宮城県大崎地域の対象施設を巡り、スタンプを3つ以上集めて応募すると、鳴子温泉の宿泊利用券や特産品が当たるスタンプラリーを実施中！東北の中心部“東北のへそ”に隠れた名物を探す旅に出かけてみませんか？



■期間
9月17日(木)～
11月30日(月)

[観光振興室 29-1311]

■看護師への復職をe-ラーニングで応援します！

山形県看護協会では、

- ①看護師等免許をお持ちで
- ②山形県内在住の
- ③現在未就業の方



に、最新の看護動向や基本的な技術・知識について学びなおすことができるオンライン研修を、無料で提供しています。定員がありますので、以下のページよりお早めにお申し込みください！

□県看護協会 HP
<http://www.nurse-yamagata.or.jp/project/reinstatement.html>



[保健企画課 29-1257]

■薬と健康の週間

10月17日(木)から10月23日(水)は薬と健康の週間です。

病気やけがを治すのに役立つ「薬」。正しく使わなければ思わぬ副作用を引き起こすこともあります。

使用方法が分からなかったり不安なことがあれば、薬剤師や登録販売者などのお薬の専門家から適切なアドバイスを受け、正しくお薬のことを理解してから使用しましょう。



[保健企画課 29-1256]

■高校生対象医療福祉座談会

医療・介護の現場で働く方から直接話を聞き、医療・介護の仕事について理解を深めることができる座談会を開催します。

- 【日時】10月28日(水) 16:15から18:10まで
- 【場所】新庄北高校
- 【対象】最上管内の高等学校に在籍する生徒(全学年)
- 【定員】100名
- 【講師】最上管内で働く医師／薬剤師／看護師／理学療法士、作業療法士または言語聴覚士／臨床検査技師または診療放射線技師／介護福祉士
- 【申込方法】各高校へ申込書を提出

[保健企画課 29-1257]

■秋もクマに注意！

秋はクマが冬眠に向けて餌を求めて活発に動き回ります。このため、行楽やキノコ狩りなどでクマと出会う機会が多くなり、思わぬ事故にあう可能性もあります。

また、今年はクマの餌となるブナが凶作と見込まれており、今後もクマが出没し続けることが予想されます。人身被害の多くは9月から11月に発生しております。

行楽や山菜取りなどで山に入る場合は、クマに出会う危険性がありますので、クマ鈴をつける等十分気をつけるようにしてください。



[環境課 29-1285]

◆毒きのこによる食中毒に気をつけましょう！

夏の気温が高く、その後適度な降雨があり、朝晩の気温が低下すると多くのキノコが発生しますが、

食用のキノコと確実に判断できないキノコは絶対に…
採らない！ 食べない！
売らない！ 人にあげない！



キノコを食べて体調が悪くなったらすぐに病院を受診しましょう。

[生活衛生室 29-1261]

▶発行日 令和2年10月1日
▶発行元 山形県最上総合支庁総務企画部総務課総合案内窓口
▶電話 0233-29-1360 ▶FAX 0233-23-2605



Twitter @shinjo_mogami



HP



(1) 一人ひとりの基本的感染対策



感染防止の3つの基本 ①身体的距離の確保 ②マスクの着用 ③手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける
 - 外出時や屋内でも会話をするとき、人との間隔が十分とれない場合は、症状が無くてもマスクを着用する。
ただし、夏場は熱中症に十分注意する
 - 家に帰ったらまず手や顔を洗う。人混みの多い場所に行った場合は、できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる
 - 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）
- ※高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする



移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。接触確認アプリも活用 地域の感染状況に注意する

(2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- こまめに手洗い・手指消毒 咳エチケットの徹底 こまめに換気（エアコン併用で室温を28℃以下に）
- 身体的距離の確保 「3密」の回避（密集、密接、密閉）
- 一人ひとりの健康状態に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣の理解・実行
- 毎朝、体温測定・健康チェック。発熱または風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養

(3) 日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 通販も利用 1人または少人数ですいている時間に
- 電子決済の利用 計画を立てて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに レジに並ぶときは、前後にスペース

娯楽、スポーツ等

- 公園はすいている時間、場所を選ぶ ジョギングは少人数で
- 筋トレやヨガは十分に人との間隔を。もしくは自宅で動画を活用
- すれ違う時は距離を取るマナー 予約制を活用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用 歌や応援は、十分な距離かオンライン

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに 混んでいる時間帯は避けて 徒歩や自転車利用も併用する

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも活用 屋外空間で気持ちよく 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座る 料理に集中、おしゃべりは控えめに お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

イベント等への参加

- 接触確認アプリを活用 発熱又は風邪の症状がある場合は参加しない

(4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務
- オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン
- 時差通勤でゆったりと
- 対面での打合せ時は換気とマスク着用

問い合わせ先

受診相談センター（症状のある方）【毎日24時間対応】	0120-880006
一般相談センター【毎日8時30分～18時】	0120-567383
※新型コロナのわからないことや不安、予防方法等	

山形県新型コロナウイルス対策応援金の募集

新型コロナウイルス感染症のため医療の最前線で活躍している県内の医療関係者や感染拡大により大きな影響を受けている方々などを支援するため「山形県新型コロナウイルス対策応援金」を募集しています。

◆ 下記指定口座のいずれかにお振込みください。

◆ 問い合わせ先 8:30～17:15(平日)

金融機関	口座番号	口座名義
山形銀行 県庁支店	普 3121925	山形県新型コロナウイルス対策応援金 (ヤマガタケンシンガタコロナタイサクオウエンキン)
荘内銀行 県庁前支店	普 1036406	
きらやか銀行 本店営業部	普 2033500	

県 県民活動・防災ボランティア支援室
023-630-3238,2122
最上総合支庁総務課
0233-29-1209

※振込手数料については、ご負担くださいますようお願いいたします。

※詳細は山形県 HP (https://www.pref.yamagata.jp/ou/bosai/020070/korona_kifu.html) をご覧ください。

山形県新型コロナウイルス感染症対策 離職者応援事業

第2期申請期間: 10/14(水)～11/11(水)

山形県新型コロナウイルス対策応援金の寄付者の思いを踏まえて、新型コロナウイルス感染症の影響により離職を余儀なくされた県内の労働者を応援するため、山形県新型コロナウイルス感染症対策離職者応援金を準備しました。

◆ 対象者 新型コロナウイルス感染症に起因して解雇・雇止めされた県内の労働者 ◆ 応援金 一人一回限り 5万円

※詳細は山形県 HP (<https://www.pref.yamagata.jp/ou/shokokanko/110009/koyotaisakutantou/rishokushaouen.html>) をご覧ください。